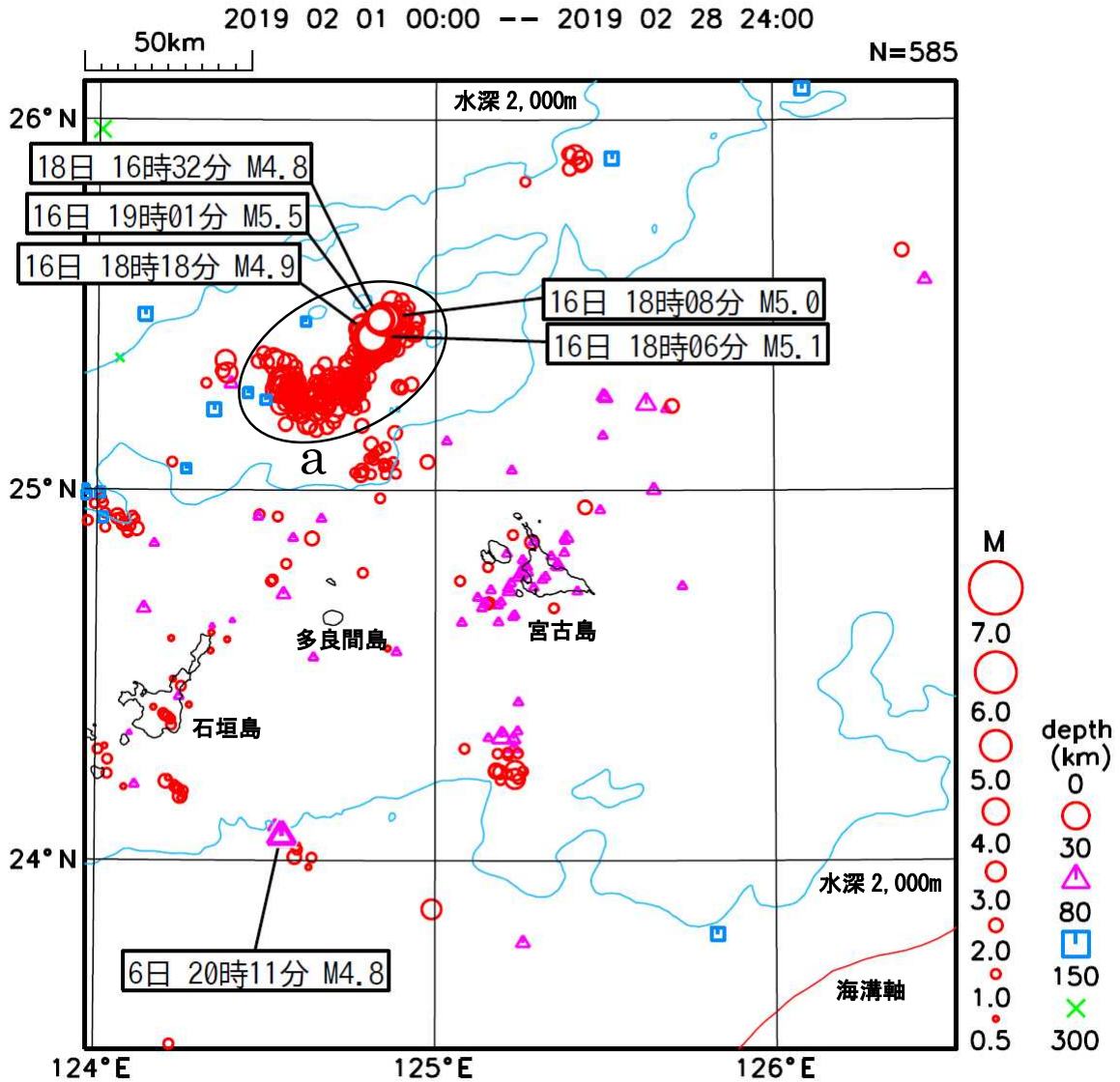


宮古島地方の地震活動図

2019年（平成31年）2月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です。）
宮古島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は585回（1月188回）で、震度1以上を観測した地震は6回（1月3回）でした。

6日20時11分に石垣島近海で発生した地震（M4.8）により多良間村で最大震度1を観測しました。

16日頃から宮古島北西沖（領域a）でまとまった地震活動があり、16日19時01分に宮古島市、多良間村で震度2～1を観測する地震（M5.5、深さ12km）が発生しました。この地震活動により、宮古島市で震度1以上を18日にかけて5回観測しています。21日以降は地震活動がほぼ収まりました（別紙参照）。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:2月1日~28日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2019年02月06日20時11分 沖縄県	石垣島近海	24° 03.9' N	124° 32.9' E	45km	M4.8
震度 1 : 多良間村塩川, 石垣市登野城, 石垣市新栄町*, 石垣市美崎町*, 竹富町黒島					
2019年02月16日18時06分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 24.8' N	124° 48.6' E	17km	M5.1
震度 2 : 宮古島市平良下里, 宮古島市下地*					
震度 1 : 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部国仲, 宮古島市上野新里 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市平良西里*					
2019年02月16日18時08分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 27.7' N	124° 50.8' E	0km	M5.0
震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部国仲					
2019年02月16日18時18分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 25.3' N	124° 48.0' E	7km	M4.9
震度 1 : 宮古島市城辺福北					
2019年02月16日19時01分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 26.6' N	124° 49.7' E	12km	M5.5
震度 2 : 宮古島市平良池間, 宮古島市下地*					
震度 1 : 多良間村塩川, 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市伊良部国仲 宮古島市上野新里, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市平良西里*					
2019年02月18日16時32分 沖縄県	宮古島北西沖	25° 27.6' N	124° 50.0' E	8km	M4.8
震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部国仲 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地*					

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

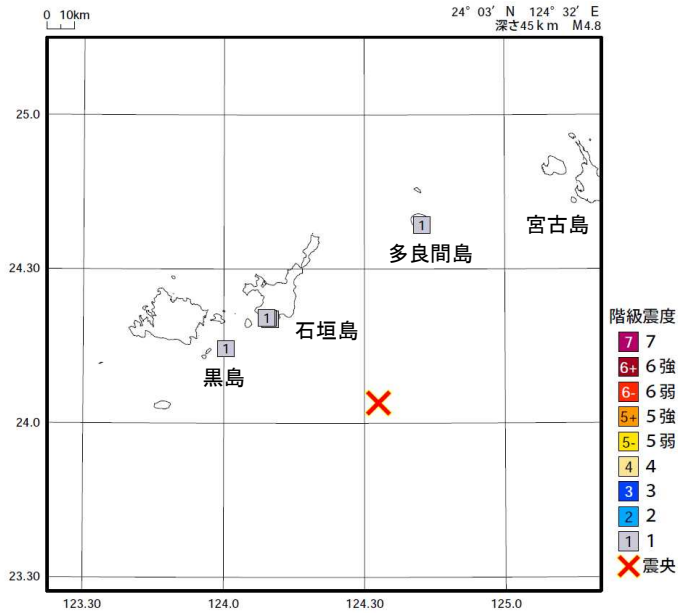
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米大学間地震学研究会（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

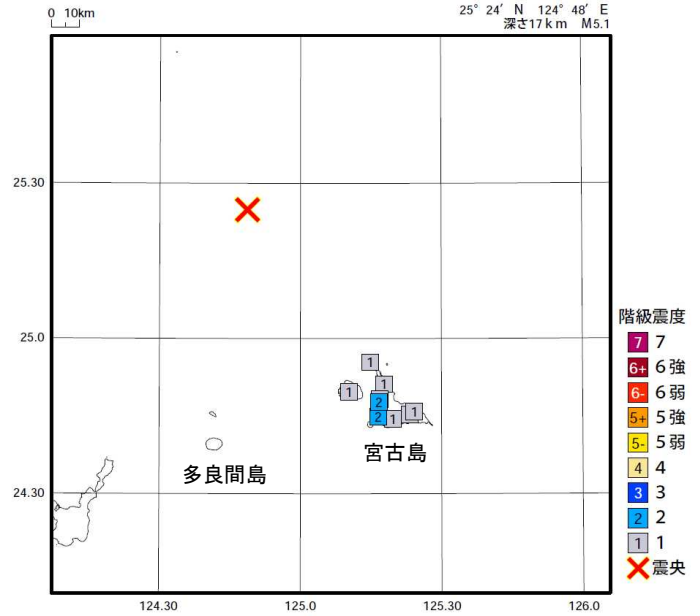
2019年2月6日 20時11分

石垣島近海の地震の震度分布図



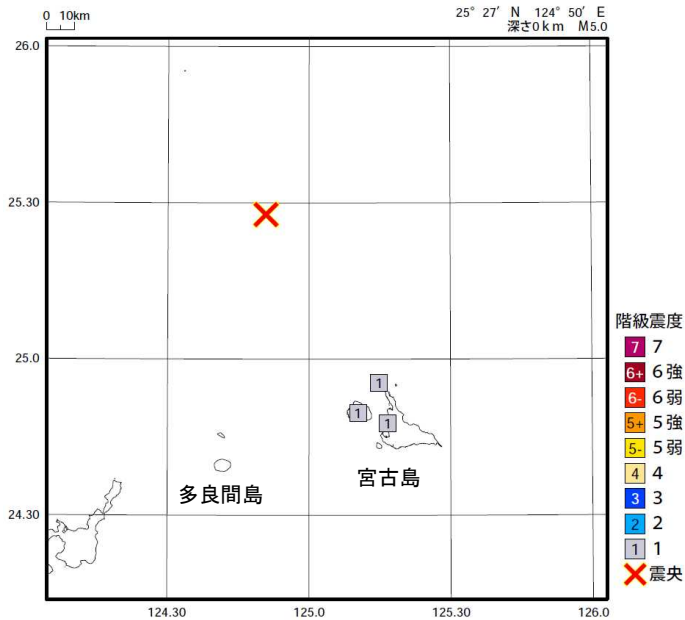
2019年2月16日 18時06分

宮古島北西沖の地震の震度分布図



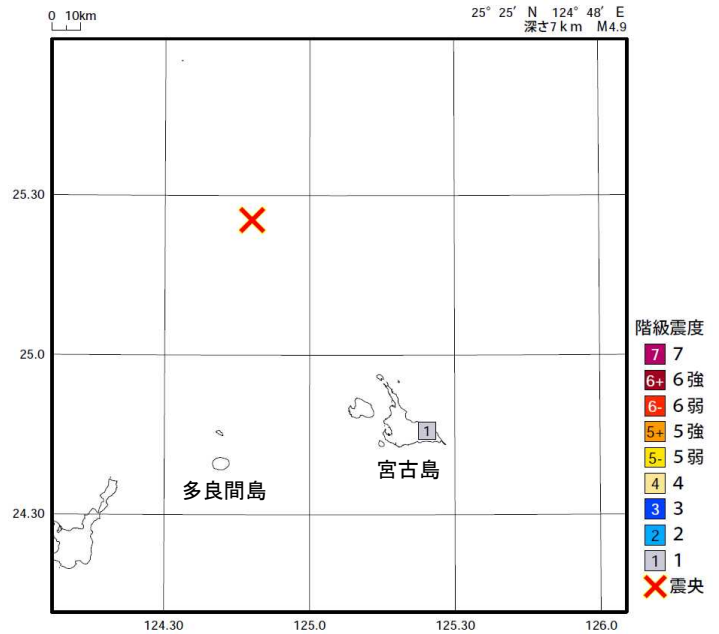
2019年2月16日 18時08分

宮古島北西沖の地震の震度分布図



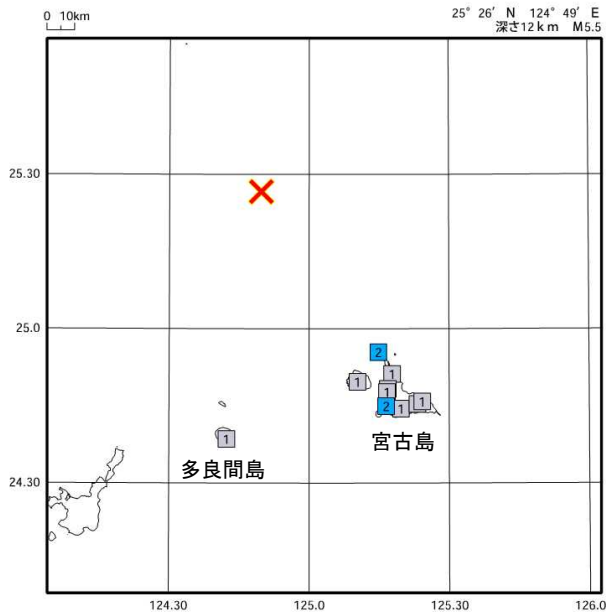
2019年2月16日 18時18分

宮古島北西沖の地震の震度分布図



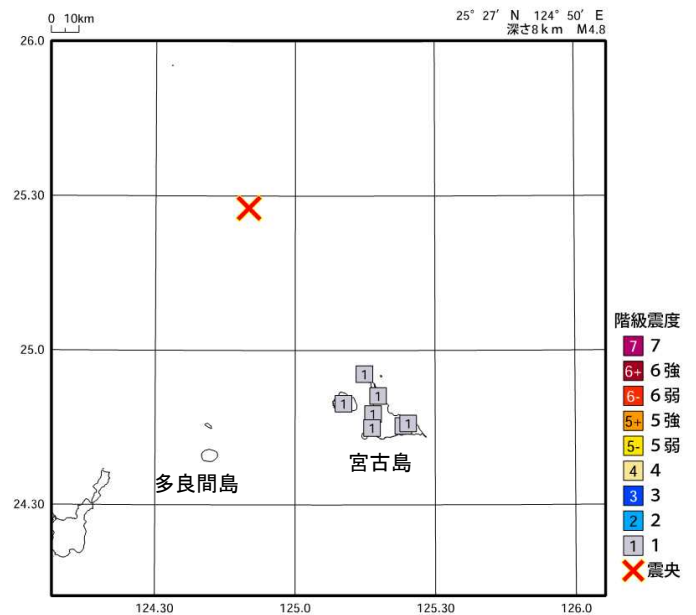
2019年2月16日 19時01分

宮古島北西沖の地震の震度分布図

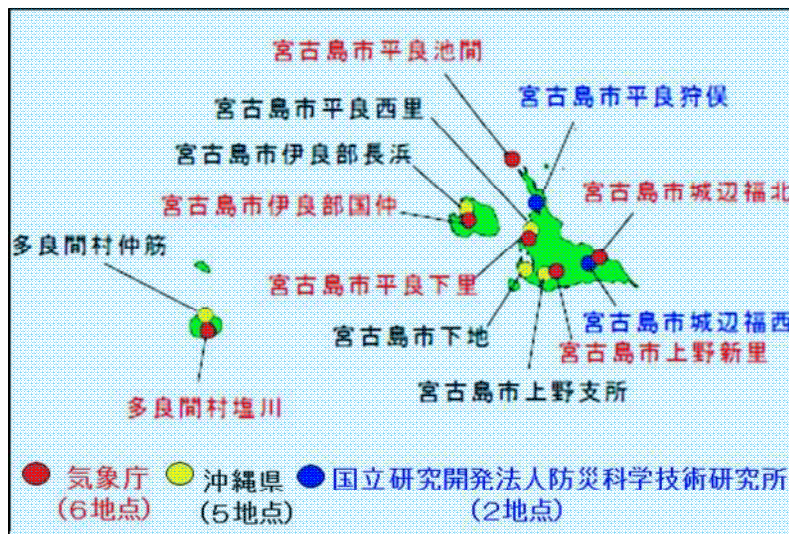


2019年2月18日 16時32分

宮古島北西沖の地震の震度分布図



宮古島地方の震度観測地点



過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <https://www.ima-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054

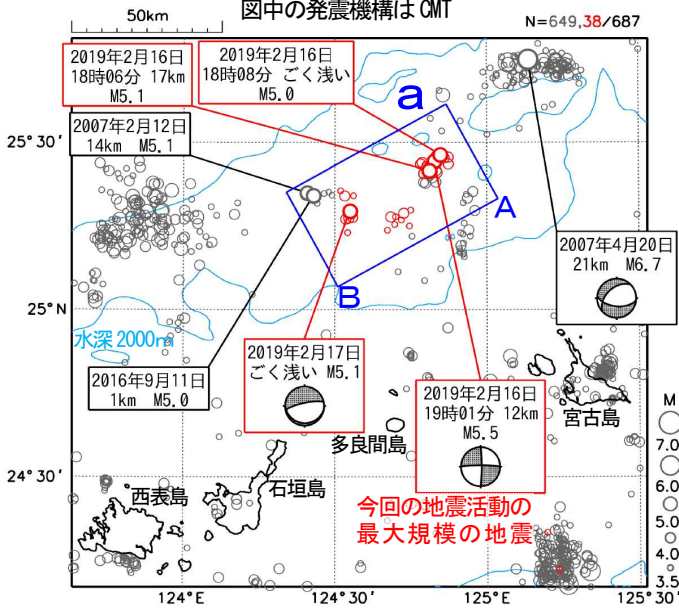
(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)



2月16日からの宮古島北西沖の地震活動

震央分布図

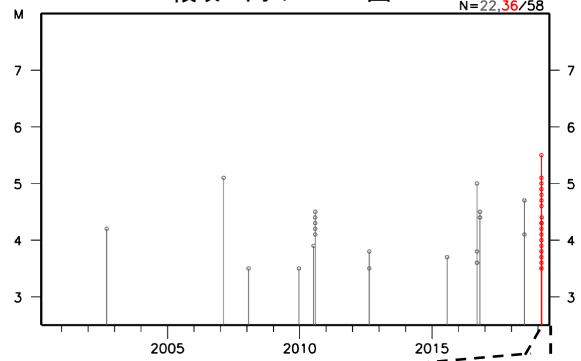
(2000年7月1日～2019年2月28日、
深さ0km～60km、 $M \geq 3.5$)
2019年2月1日以降の地震を赤で表示
図中の発震機構はCMT



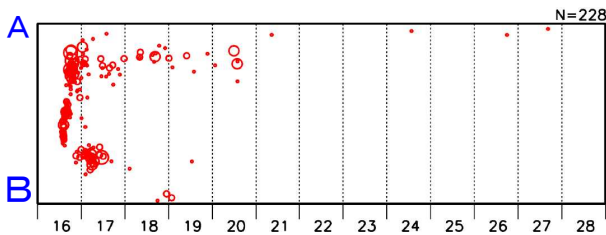
2019年2月16日から宮古島北西沖で地震活動がやや活発になり、16日19時01分に深さ12kmで最大規模の $M5.5$ の地震(最大震度2)が発生するなど、震度1以上を観測する地震が5回発生しました。最大規模の地震は地殻内で発生し、発震機構(CMT解)は北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型でした。21日以降は地震活動がほぼ収まりました。

2000年7月以降の活動をみると、今回の地震活動付近(領域a)では、 $M5.0$ 以上の地震が今までに2回発生しました。今回の地震活動の北東側では、2007年4月20日に $M6.7$ の地震(最大震度3)が発生しました。

領域a内のM-T図

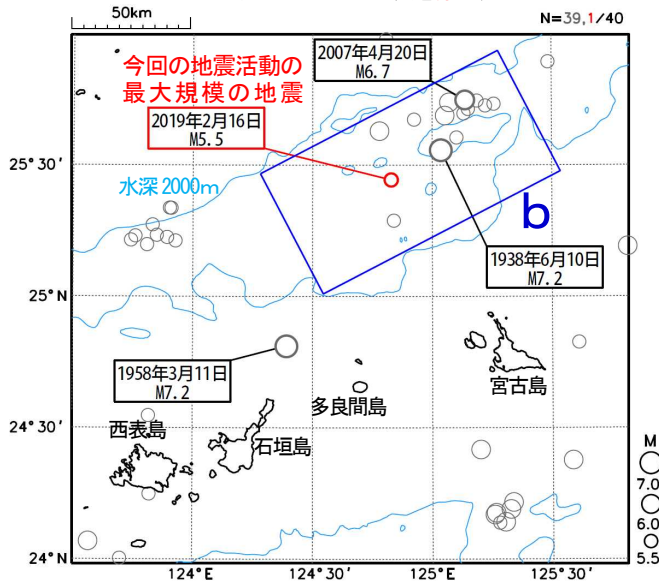


領域a内の時空間分布図
(2019年2月16日～28日、 $M \geq 2.5$ 、A-B投影)



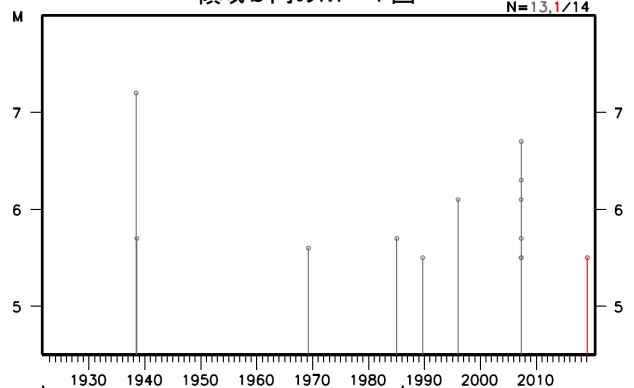
震央分布図

(1923年1月1日～2019年2月28日、
深さ0km～100km、 $M \geq 5.5$)
2019年2月1日以降の地震を赤で表示



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では1938年6月10日に $M7.2$ の地震(最大震度4)が発生しました。この地震により宮古島平良港で1.5m程度の津波が目撃されており、栈橋の流出などの被害が生じました(「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

新生活 地震や津波に備えよう

～地域の避難場所などを確認しよう～

春は就学や転勤などで新天地での暮らしをはじめの方も多い季節です。

新しく生活する場所がどのような災害に見舞われる危険が高いのか、新生活の早い段階で過去の自然災害などを知ることが大切です。

お住まいになる自治体の防災マップを確認して、どのような経路で近くの避難場所へ避難すれば安全か、事前に確認することにより、いざ地震が発生したり津波警報などが発表された場合でも落ち着いた行動ができると思います。

避難場所や避難経路、連絡方法について家族や職場などで話し合い、いざという時のために備えましょう。

↓なはMAP！より

<https://www.sonicweb-asp.jp/naha/>

(凡例)

広域避難場所

一時避難場所

収容避難場所

指定緊急避難場所

指定避難所

小災害避難場所

津波避難ビル

防災行政無線

津波浸水予想図

0.5m未満

0.5m以上～1.0m未満

1.0m以上～2.0m未満

2.0m以上～3.0m未満

3.0m以上～4.0m未満

4.0m以上～5.0m未満

5.0m以上

